

第56回

群馬交響楽団 定期公演 GUNMA SYMPHONY ORCHESTRA

まえばし市民名曲コンサート



©満田聡

わたなべ かずまさ
指揮：渡邊 一正
Conductor : Kazumasa Watanabe

曲 目

- ◇ブラームス/ ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 作品15
- ◇プロコフィエフ/ バレエ音楽
《ロメオとジュリエット》から抜粋

※出演者・曲目等はやむをえない事情により変更になる場合があります。

のほら
ピアノ：野原 みどり
Piano : Midori Nohara



2018 1/20 [土]

時間 18:30開演(18:00開場)
会場 昌賢学園まえばしホール
(前橋市民文化会館)

全席
指定

S席 3,500円(3,200円) B席 1,500円(1,300円)
A席 2,500円(2,300円) 学生(高校生以上) 1,500円【全席種一律料金】

※S・A・B席に関わらず学生1,500円。お取扱いは昌賢学園まえばしホール及び群馬交響楽団事務局。
※()内は前橋市民文化会館鑑賞友の会員料金(昌賢学園まえばしホールでの購入に限ります)
※未就学児入場不可

【プレイガイド】

発売日9月17日(日)

※群馬事務局のみ9月19日(火)

●昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) TEL.(027)221-4321
●煥乎堂 TEL.(027)235-8111
●群馬交響楽団 TEL.(027)322-4944
●群響オンラインチケットサービス <http://www.gunkyo.com/>

●チケットぴあ TEL.(0570)02-9999
<http://t.pia.jp>(Pコード 345-177)
※チケットぴあ端末のあるお店にて、発券・購入いただけます。
(予約番号やPコード等の入力が必要です)

【お問い合わせ】

昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)
群馬交響楽団

TEL.(027)221-4321
TEL.(027)322-4316

〒371-0805 前橋市南町三丁目62-1
〒370-8501 高崎市高松町35番地1

主催：前橋市、一般財団法人 前橋市まちづくり公社、
公益財団法人 群馬交響楽団
後援：前橋市教育委員会

第56回
群馬交響楽団
定期公演

まえばし市民名曲コンサート

指揮／ 渡邊 一正 Conductor／ Kazumasa Watanabe



©満田聡

2015年4月から東京フィルハーモニー交響楽団レジデント・コンダクター。1995～2002年広島交響楽団正指揮者、1996～2015年3月まで東京フィルハーモニー交響楽団指揮者を歴任。1998年にNHK交響楽団の指揮台に初登場し、それ以後オーチャード定期、NHKホール定期を始めN響との共演も多い。第69回日本音楽コンクール作曲部門と第77回同コンクールピアノ部門本選会演奏に対しコンクール委員会特別賞を受賞。日本国内では札幌交響楽団、日本センチュリー交響楽団、群馬交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団などほぼ全ての主要な日本国内のオーケストラへ定期的に客演している。

オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」を、同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮。2006年「白鳥の湖」新演出の指揮も任され大成功を収めた。サンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど海外でも活躍している。

ピアニストとして8歳の時に東京交響楽団、東京フィルとハイドンのピアノ協奏曲を協演。1987年から1989年には渡欧しハンス・ライグラフ氏に師事。東京フィル定期、広島響定期などのオーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番、第5番「皇帝」、ラヴェル、ガーシュウィンなどの弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。

ピアノ／ 野原 みどり Piano／ Midori Nohara



東京芸術大学在学中に第56回日本音楽コンクール・ピアノ部門第1位、増沢賞・井口賞受賞。首席で卒業後、パリ、エコール・ノルマルに留学。第42回ブゾーニ国際ピアノコンクール第3位、リストエチュード賞受賞。リスト国際ピアノコンクール(ブダペスト)第2位、第23回ロン＝ティボー国際ピアノコンクール第1位受賞。

J・フルネ、L・マゼール、M・プラツソン、小澤征爾／フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル他、国内外の指揮者、オーケストラと多数協演。また日本全国でのリサイタルや、ベルリン・フィル・ヴィルトゥオーゾ、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンやヴィオラのG・コセ、W・クリスト、サクソフォンのC・ドゥラングルとの共演と、ソロに加え室内楽やデュオでも活躍している。

2001年3月に岩手と東京において、ラヴェルピアノ独奏作品全曲演奏会、また、2002年12月に東京でメシアン「世の終わりのための四重奏曲」を中心とする室内楽演奏会を行いいずれも高い評価を得た。2005年9月には、神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会でラヴェルの2つの協奏曲を演奏し、研ぎ澄まされたテクニクと音楽性が高く評価された。

2006年1月には中国の武漢交響楽団に日本人として初めて招かれ、ベートーヴェン「皇帝」を演奏。現地のマスコミにも大きく取り上げられた。2009年1月には、東京都交響楽団の定期演奏会で矢代秋雄のピアノ協奏曲を演奏し、好評を博した。2015年には、ロン＝ティボー・クレスパン国際コンクールのピアノ部門審査員として招かれた。

CDはこれまでに、「ラヴェル：ピアノ作品全集I・II」「月光」など、フォンテック、アウローラ・クラシカル等より7枚が発売されている。

京都市立芸術大学准教授、名古屋音楽大学客員教授。

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2016年度までに延べ630万人を超える児童・生徒が鑑賞した。2014年6月には定期演奏会が500回に達し、2015年11月には創立70周年を迎えた。群馬交響楽団は群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

1966年「朝日・明るい社会賞」、1983年文部大臣「地域文化功労者」団体表彰、1989年 第11回山本有三記念「郷土文化賞」、1994年「日本文化デザイン賞」、1995年「第4回日本生活文化大賞特別賞」、2001年日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞。

